

# 平成29年 死亡災害発生状況

(平成29年9月4日現在)

加古川労働基準監督署

前年同期:1件

	発生月	業種	事故の型	性別	年齢	経験年数	災害の発生状況
	場所	規模	起因物	職種			
1	2月	建設業	墜落、転落	男	40歳	20年	個人住宅保全点検工事で1階テラスから2階バルコニーへ資材を運搬するため、片手に資材を持って外壁に設けたはしごを上っていたところ、バランスを崩して墜落し、テラス床に頭部を打ちつけた。
	高砂	138人	はしご等	防水工			
2	2月	製造業	激突され	男	53歳	34年	移動式クレーンのフレーム等、大型金属部材をガス溶断により細分する作業中、ガス溶断したフレームの一部が被災者の方向に倒れ、その下敷きとなった。
	姫路市 (出張作業)	40人	金属材料	作業員			
3	4月	建設業	おぼれ	男	58歳	1年	被災者は、他の作業員とともに単管とクランプを使用してため池上に設置された仮設ステージのクランプを調整をしていたが、他の作業員が一時的に現場を離れ、再び戻ったところ被災者の姿が見えず、保護帽が浮いていることを不審に思い付近を探したところ、ため池に沈んでいる被災者を発見した。
	三木市	1人	水	作業員			
4	6月	建設業	墜落、転落	男	76歳	5年	河川の護岸のうち、護岸上部に芝を張る作業中、作業場所が勾配35度の傾斜地であったため、足掛りとする設備を設置しようとしていた被災者が、川床に墜落した。
	三木市	3人	建築物、構築物等	作業員			
5	6月	製造業	激突され	男	26歳	8月	ワイヤロープの両端を機械で固定して張力をかける装置を操作していた被災者が、固定箇所的一端で滑りが発生したために跳ね上がったワイヤロープに激突された。
	加古川市	66人	動力機械	技術職			
6	7月	警備業	高温・低温の物との接触	男	31歳	12年	建設工事現場の警備業務に従事していた被災者が、現場作業終了後に体調不良を訴えたため救急搬送したが、翌日、熱中症による多臓器不全により死亡した。
	姫路市 (出張作業)	30人	高温・低温環境	警備員			
7	8月	製造業	墜落、転落	男	37歳	7年	被災者は同僚との共同作業終了後、1人で天井クレーンを操作して次の作業を行う作業場に移動させたが、その後、戻ってこなかったため様子を見に行った同僚がクレーン下の作業場に倒れているところを発見した。
	高砂市	1000人以上	クレーン	技術職			
8	4月	建設業	墜落、転落	男	32歳	13年	建築物解体工事に使用した単管、クランプ、防音シート等で構成された仮設養生を解体作業中に高さ約5mの水平材の単管上から墜落、入院加療中であったが9月3日に死亡した。
	高砂市	3人	建築物、構築物等	作業員			